



(株)山開園製茶顧問  
名古屋大学非常勤講師  
西 孝雄 様

～ 温泉経営と地域活性化について ～  
品質とサービスが鍵

1. 地域活性化のポイント
2. 百貨店とは (松坂屋)
3. 製造メーカーとは (エルモ社)
4. 温泉経営とは (川根町温泉)
5. 川根温泉で今までに実施したこと



川根町温泉は平成6年12月24日、1148mから掘り出た温泉です。湯量は1分間に2,000Lになります。温泉施設を作ったのは平成10年で、役場の課長さんが2年間づつ計4年支配人をしていました。平成14年に公募により私が支配人となりました。施設は第三セクターで、3,000万円のうち2,700万円が役場が持っています。第三セクターは赤字の代名詞ですが、川根町温泉ははじめから黒字でした。

全国38回講演に行きましたが、それ以上に川根温泉に議員団や町長などの視察が訪れました。自分たちの温泉が赤字なので、川根温泉のように黒字にするには...とのことでした。

静岡県は全国でも有数の温泉県ですが、125の温泉の中で1分間に200L以上出て、温度が40℃以上であるのは9つしかありません。一番多いのが川根の886L(48℃)で、これは湯量をかなり押さえた数字です。勝手に湧き出て、さらに温度も丁度いいのでお金がかかりません。

昭和23年に温泉法が制定されました。その内容は、「温度が25℃以上なら温泉」「24℃以下でも19の物質の中から1つでも基準を満たせば温泉」ということで、日本中どこを掘っても温泉なのです。

～ 川根温泉で何をしたか

- ・全館禁煙にした
- ・無料の足湯を作った
- ・濃縮温泉の販売(20倍の濃度)
- ・源泉の配管システムを再構築した
- ・大型駐車場を作った
- ・コテージに露天風呂を作った

濃縮温泉の販売については、もともと1200円で販売したいでしたが、現在500円にて販売しています。川根温泉の中に500円で販売できるように工場を作りました。よって、月間300本しか売れなかったのが、年間15000本売れました。

コテージの露天風呂に関しましては、当時よく川根温泉に訪れていた、中日ドラゴンズ落合監督が「コテージに露天風呂をつけてくれ」と言ったのがきっかけでした。一棟300万円ほどかかりましたが、連日超満員となりました。

2年間の契約の中で、私がいなくなっても経営ができるように3人の幹部を育てました。役場は絶対に権限を委譲しないのがよくありません。また、温泉を維持していくため、掘るための本物の技術者と高い金額で契約しました。川根のような本物の温泉は石油を掘るよりも厄介なのです。

笹間の駅名を「川根温泉笹間渡」としました。また、日本温泉協会から「天然温泉100%」の看板を頂きました。これは日本温泉協会に加盟している約2700のうち、200しかありません。

今年からるるぶ(JTB)さんが全国の温泉の一覧表を作り、源泉かどうか、循環かどうかなど一目瞭然となりました。

川根温泉のご招待券を持ってきましたので、ぜひご利用下さい。本日はありがとうございました。

委員会報告

- 職場体験について (7/25,26,27)
- 静岡中央RCホームページリンクについて
- ゴルフ同好会 (5/12 56名)
- グルメ同好会

出席報告 ..... 佐藤委員

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	4/2	50名	43名	7名	—	1名	88%
前 回	4/9	50名	45名	5名	—	( 名 )	—
本 日	4/16	50名	43名	7名	86.0%	( 名 )	—